鋸山、富山、伊予ヶ岳

山行日　　2020 年 6 月 6 日
参加者　　KMSD、YMZK
行程　　鋸山；；金谷登山口 6：44ー鋸山 8：07ー金谷登山口 9：12
　　富山；；駐車場 9：45ー福満寺ー富山 11：02ー駐車場 12：09
　　伊予ヶ岳；；天群天神駐車場 12：28ー伊予ヶ岳 13；41ー駐車場 14：34

5 月 25 日にコロナウィルス緊急事態宣言の解除及び山の会としての 6 月 1 日からの居住地県内への山行が容認され、早速、千葉県内の鋸山に行ってきた。千葉県は、ご存知のように国内で最も山が少ない県であり、これまで、登山を計画したことがなく、関東で唯一の登山空白地帯であった。

約 3 ヶ月ぶりの登山であり、比較的低山であることから、登るなら鋸山を始め、富山、千葉県の唯一の“岳”の名がつく伊予ヶ岳及びもう一つぐらいは登らなければと、早朝 5 時に松戸を出た。道路はコロナ自粛のためか、スムーズに登山口までいけたが、予定していた登山口駐車場は、日本寺の駐車場のために、8 時半以降の会場のため、急遽、金谷登山口近くの専用の駐車場を見つけ、登山を開始した。ヤマップの地図等を頼りに登ったが、初めての山であり、分岐道を誤ったり、昨年の台風の影響により登山道の閉鎖等のため、試行錯誤しながら、どうにか頂上を得た。登山口にマムシ注意との看板があったが、見晴らし台付近で、見事なマムシと相対したのは驚きであった。

鋸山の下山後、車で”びわ”がたわわに実る富山（とみさん）駐車場から、南峰、北峰を経て周回する予定で望んだが、北峰からの北の稜線の下山道は閉鎖され、ピストンとなった。稜線の中央は南総里見八犬伝終焉の地の碑が飾られていた。

車でさらに、伊予ヶ岳登山口まで移動後、比較的距離が短い伊予ヶ岳を目指したが、標高約 260 の展望台からの頂上までにロープによる直登は、3 月に望んだ妙義山より険しく感じられた。最後の一つは、自粛中の体力不足のため次回とした。

楽しい房州の名山を満喫した。